

平成20年10月10日

各 位

上場会社名 株式会社 七十七銀行
 代表者 取締役頭取 鎌田 宏
 (コード番号 8341)
 問合せ先責任者 総合企画部長 小林 英文
 (TEL 022-267-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	67,000	10,000	6,000	15.81
今回発表予想(B)	68,500	6,200	3,800	10.02
増減額(B-A)	1,500	△3,800	△2,200	――
増減率(%)	2.2	△38.0	△36.7	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	67,057	9,670	6,045	15.93

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,000	9,500	6,000	15.81
今回発表予想(B)	59,600	6,100	3,800	10.02
増減額(B-A)	2,600	△3,400	△2,200	――
増減率(%)	4.6	△35.8	△36.7	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	57,558	9,636	6,040	15.92

修正の理由

経常収益は前回発表予想を上回る見込みではありますが、米国金融危機に伴う株式市場等の低迷を受け、有価証券の減損処理を行うほか、経済環境の悪化等に伴い与信関係費用が増加する見込みであること等から、平成21年3月期第2四半期累計期間の当行単体・連結の経常利益および中間純利益について前回発表予想を下方修正するものであります。

なお、平成21年3月期通期の業績予想につきましては、11月に予定しております中間決算発表時にお知らせいたします。

以 上

【参考】平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想（単体）

- (1) 経常収益は、国債等債券売却益の増加等により前回発表予想を上回る見込みであります。
- (2) 投資信託等の預り資産の販売不振等による役務取引等利益の伸び悩みを主因に、コア業務純益は前回発表予想を下回る見込みであります。
- (3) 米国金融危機に伴う株式市場等の低迷を受け、有価証券の減損処理を行うほか、経済環境の悪化等に伴い与信関連費用が増加する見込みであること等から、経常利益、中間純利益は前回発表予想を下回る見込みであります。

なお、9月16日にお知らせしたリーマン・ブラザーズ・ホールディングス向け与信20億円につきましては、当第2四半期において18億円の損失処理（個別貸倒引当金繰入10億円、国債等債券償却8億円）を行っております。

（単位：億円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	(参考) 前年同期実績
経常収益	570	596	26	575
業務粗利益	448	428	△ 20	436
うち資金利益	390	384	△ 6	392
うち役務取引等利益	60	48	△ 12	55
うち国債等債券損益	△ 3	△ 6	△ 3	△ 10
経費	296	289	△ 7	298
一般貸倒引当金繰入前業務純益	152	139	△ 13	138
[コア業務純益]	[155]	[145]	[△ 10]	[148]
一般貸倒引当金繰入額 ①	15	26	11	13
業務純益	137	113	△ 24	125
臨時損益	△ 42	△ 52	△ 10	△ 29
うち株式等関係損益	3	6	3	1
うち不良債権処理損失 ②	40	55	15	36
経常利益	95	61	△ 34	96
中間純利益	60	38	△ 22	60
与信関係費用 (①+②)	55	81	26	49
有価証券減損処理額	—	(注) 31	31	1

(注) 国債等債券償却30億円および株式等償却1億円であります。

※本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上